

盛況の岩手大・岩手県立大大会

孫たちと爺々のオリエンテーリング NO32

武石 雄市

10月14-15日、秋晴れの秀峰南部富士山麓で岩手大学と岩手県立大学が工夫を凝らし、二日間大会を開催した。前日はユニークなハロウィーンバージョン！

当日はスプリントのチェイスシングスタート。ラスコンからのフィニッシュレーンは所属チームの応援歓声！！

岩手の森は沸きに沸いた。孫・爺バージョンの別記文スタイルで少年（中1）達の行動を追う。

部活よりオリエン参加優先

渡辺幸と友人の東野基生は中学1年の同級生、部活はサッカー部に入部している。二人とも小学生時代に地域のサッカースポーツ少年団に入団していたので当然の成り行きかもしれない。

爺々はクロカンスキーのスボ少指導者から素質を見込まれて誘われていたことを話したがあっさり断っていた。

10月は中学・高校生にとって新人戦たけなわの月である。1・2年生にとってはレギュラーポジションを獲得するチャンスなのである。

彼らが所属するチームも新人戦を戦い、チームは運よく？実力？なんと県大会代表の座を射止めた。基生はGKの控え、幸はDFとしてレギュラー出場した。

翌週が県大会、当然のことであるが今度の土曜日は大切な練習試合である。幸は部活に出ないとレギュラーをはずされる懸念があるので練習に出たい。しかし、岩大と県立大のオリエンテーリングにはそれ以上の魅力を感じていた。昨年、大雨の「展勝地」で1位になり招待選手の栄誉を受けたのだ。

彼らは決心して顧問の先生に、オリエンテーリング大会に参加する理由を説明した。（そのことは後述する）

大会参加者の減少で、特に若年層の普及対策を模索している昨今、オリエンテーリングに魅力を感じ、部活より優先して大会に参加している中学生がいることを爺々は強調したいのです。

トレインはキャンパスに隣接

近年、岩手大学と岩手県立大学はインカレ等で活躍する選手がコンスタントに出現し、その活躍も東北学連では主要な地位を占めている。

これまでクラブ大会を個別に開いていたが、今年を第1回として合同で大会開催の運びとなった。初めて合同運営なのでその準備に集中し、前日イベント開催のアナウンスがなかなかされなかった。日曜日だけ単日大会では首都圏から遠いことでもあり、集客に少々心配していたが、が、心配は徒勞、角田明子・栗城吾央を中心とした県立大有志が企画を発表した。足慣らしのスプリントとハロウィーンオリエンテーリングだ。

トレインは県立大キャンパスに隣接している滝沢森林公園。周囲を道路に囲まれて1辺が1km弱のほぼ正方形。遊歩道も張り巡られているがこの時期にして通行可能度はA & Bが90%。

余談になるがこれほどトレーニング環境に恵まれている岩手県立大学生がうらやましい。成績向上もうなずける。

スプリントはそのトレインにコントロールを20箇所設置して数本のコースプランがなされている。

スプリントのS & Gはウィークデーには学生たちが憩うであろう芝生の丘をレイアウトしている。スタートレーン近くの芝生に腰を下ろすと防風林を挟んでスタートフラッグも見える。フィニッシュはまさにその丘の上のある二つのこぶの鞍部だ。

ふと、西を見上げると秋晴れの森を見下ろすかのように其処には秀麗な「南部富士」（岩手山）の姿があった。



岩手県立大キャンパスから秋晴れの下に望む南部富士の勇姿

ハロウィーンバージョン

爺々はスプリントに続いてのハロウィーンバージョンも、北海道・東北連絡協議会の会議出席のため会場を離れ、残念ながら体験できなかった。

前日プログラムで凡その見当はついていて、更衣室で仮装を準備し黒いトンがり帽子をかぶっている学生たちの状況からそのユニークさと笑いが想像できた。

勝敗は規定時間内に集めたお菓子の重量をポイントにし、スコア方式のパンチひとつごとに5gが加算され、さらにトリム以外の仮装服装と主催者が認定すると、重量は1.2倍に計算される。当然ペナルティもあり、制限時間オーバーは30秒ごとにお菓子が重い順に没収されるというものだ。

20箇所のお菓子ハウスには重いお菓子、軽いお菓子が無差別に入れてあり、どんなお菓子がどのポストに入っているか事前にわからない、しかも、お菓子ハウスに十分な数のお菓子が入っているとは限らない。基生君は気の毒にも空罫りのポストが3箇所もあり、ライバルの幸に合計重量で85gも差がついた。

幸と基生の獲得ポイント 単位：g

	菓子	スコア	仮装	合計
幸	220	70	0	290
基生	130	75	0	205

ハロウィーンとは？

ここでまた余談ですが、誤解があるといけないのでハロウィーンについて簡単に説明しましょう。

ハロウィーンはお化けの格好をした子供が家々を訪ねてお菓子を集めるお祭りとして、かぼちゃのグッズとともにアメリカが盛んですが、もともとはヨーロッパの最も古い民族の一つ、アイルランドからヨーロッパの西へ移り住んだケルト人のお祭りが発祥の発端、祖先が年1回、この世へよみがえる大事な行事。

お化けの仮装は、亡くなった大切な人々と楽しく交流するのが目的で、お菓子には大人が子供に成長の種を渡す意味があるそうです。「お菓子をくれないといたずらするぞ！」と家々で声を上げるが、先祖のおかげで私たちが生きていることに感謝し、子供に未来を託す願いがこめられているのです。

多感な少年期にいじめを受け、自殺に追い込まれた事件が北海道と九州に発生し、重大な社会問題となっている。学校や教師にハロウィーンを楽しませる余裕は生まれてこないだろうか。

3 箇所のハウスで大人たちが全部持ち去り、お菓子を集めることができなかった基生君は、あの時いたずらしても許されたかもしれませんね。

ケルト人のハロウィーンは 10 月 31 日の夜から 11 月 1 日の明け方。厳しい冬の始まり、つらい季節を前にした祭りを通じて、春まで生きる勇気をもらったような。

お菓子を提供してくれたお菓子屋さん

さいとう製菓株式会社

岩手を代表する銘菓「かもめの玉子」

藤原養蜂場

お勧めは「特製スズメ蜂ウォーター」

創業明治五年 丸竹

餅・赤飯・餅菓子を作り続け 130 年

創業薫房まつばや

市民に愛されケーキも和菓子も美味

黄精飴本舗長沢屋

「黄精飴」の製造は日本でここだけ

和洋菓清月堂

「くりっこ」は店主自慢のおススメ

みちのく創彩菓子 砂田屋

「酒ケーキ」は岩手の誇る酒の味

「最高齢参加者として心から御礼申し上げます。来年もどうぞよろしくお願いたします」(武石)

10月15日(日)

テレビ：岩大農学部滝沢演習林

会場：(メイン) 県立大学共通講義棟

(サブ) 岩大演習林事務所

* サブ会場の設置は、演習林事務所付近に駐車場スペースが無いための措置と理解した。

メインからサブまで距離約 3.5 km、役員の自家用車が総動員されてピストン輸送していた。

岩大の大会としては珍しく、晴天で気温も穏やかで、管理事務所前にぽっかり開いたスペースは青空会場として何の不便も感じない。

スプリント 1 本目

会場からスタート地区まで約 1.4km、日ごろ、一般人は立ち入り禁止の管理道は両側が樹高の高い原生林に囲まれ、森林浴気分が気持ちよい。

大会も年々参加者が増加し、スタート地区も程よい緊張感が感じられる。

2 本目がチェイシングなので参加者はそれぞれの作戦を練っていることだろう。

M20A 幸と基生の参加理由

当日参加を含めて 20 名、二人の他は全員大学生である。中学生 (13 歳) がこのクラスに挑戦する理由は二つある。一つは、該当する年齢の A クラスが無いこと。二つ目は、単純に難易度の高いクラスに挑戦したいから。

二人は、大胆なハイクラスに出る割にいつもと変わらず落ち着いている。

爺々が会場に戻り早い昼食をしているところにクラスでトップスタートの幸が戻り、程なく基生も戻ってきた。

結局、出走者は 18 名だったが、1 本目の結果は幸が 11 位、基生が 17 位。幸は から道に出たところでポジションミスの 2 分ロス、基生はもったいないことに のコントロールすぐ前まで行きながら特徴物が無いためにリロケートに までバックして 10 分のロスをしている。

2 本目のチェイシング

M50A でトップだった爺々が 2 位とタイム差があったのでそのままゴール。

程なく、大勢の参加者で熾烈なレースが強いられている M21A の選手が、ラスコンからのフィニッシュレーンを短距離走のように続々とラストパンチ。

WOC 代表の高橋善徳は 1 本目の貯金効いて堂々と 1 着でフィニッシュしたが、3 着の杉山尚徳は 1 本目 2 位の鎌田健太郎との 47 秒差を追い抜き、特に同タイム 2 着の佐藤時則は 1 分 23 秒差を 11 位から引っくり返した。2 着から 7 着まで秒差のフィニッシュは見ごたえのあるものだった。



佐藤時則のコメント

「今日はチェイシングを堪能しました。スタートから までの見通しの良い登りがありがたかった。27 秒前の白戸君を見失いように追いかけ、その前の 8 人は秒差なのでバック集団となっている筈、途中で白戸を追い抜き、ラスト前で直前にいる集団を確認、パンチの差で 2 着になりました。こんなうれしいことは久しぶり、インカレチャン

プ以来かもしれません。本当にうれしい！」

中学生 2 人の追い上げ

M20A クラスの幸と基生も見事に順位を上げた。特にこのクラスでラストスタートの基生はほとんどのレッグをミスなしで通過、2 本目のタイムは堂々 5 位、幸と 10 分 14 秒の差をフィニッシュレーンでわずか 6 秒にまで追いつけた。成績は 18 名中、幸が 7 位基生 8 位、彼らの後ろに 10 人の大学生が残った。



フィニッシュレーンをダッシュする幸 (2 番目) と基生 (3 番目)、その差は 6 秒。

成績

M21A

1 高橋善徳	みちの会	0 25 :22
2 佐藤時則	しまフクの会	0 28 :32
3 杉山尚徳	今治西登山部	0 28 :32

W21A

1 皆川美紀子	みちの会	0 26 :19
2 千葉光絵		0 31 :13
3 下村佳奈	航走の会	0 32 :42

M20A

1 永山育男	東北大 OLC	0 26 :08
2 長峯大樹	東北大 OLC	0 26 :10
3 木内俊太郎	福島大 OLC	0 31 :52
7 渡辺 幸	米沢 2 中	0 49 :34
8 東野基生	米沢 2 中	0 49 :40

W20A

1 高島さゆり	MGOLC	0 50 :46
2 長瀬亜結美	福島大 OLC	0 50 :54
3 後藤未妃	MGOLC	0 51 :20

M50A

1 武石雄市	チームスキー-O	0 35 :52
2 永元秀和		0 55 :21
3 小野寺俊次		1 00 :25



表彰されて喜びの爺々 (武石雄市)